

第11回アスリートワールド学童野球教室（平成28年12月4日）



12月4日、桧山進次郎氏をはじめ、中日ドラゴンズコーチの波留敏夫氏ら現役プロ野球選手・プロ野球OB選手24名が、京都市学童野球チームを対象に、野球の楽しさ、知識、技術、心構え等を指導（伝道）する第11回アスリートワールド学童野球教室を開催しました。

教室には府内の学童野球チーム25チームから約430名の児童が参加し、会場となったわかさスタジアム京都は大勢の子どもたちでにぎわいました。

東北楽天ゴールデンイーグルスの福山選手と一緒に準備運動を終えると、まずはキャッチボールで身体を慣らし、その後それぞれの組に分かれ、順番にバッティング、ピッチング、走塁などの実技指導を受けました。桧山さんは、「素振りをするときには、常に試合を想定して、前を向いてボールをイメージしながら打つ、叩いて打つ、後は思いっきり振る」などの動作を丁寧に指導され、実技指導の後は、アスリート対子どもたちの野球対決、アスリートたちとの記念撮影を行いました。プロ野球選手・プロ野球OB選手の皆さんと一緒に野球をし、グータッチをしたり、実技を褒めてもらったり、子どもたちは終始いきいきとした表情で、熱心にプロ野球選手の指導を聞いていました。